

2008 年度 前期

東北大学会計大学院アンケート実施報告書

Tohoku University Accounting School

東北大学会計大学院ワークショップ委員会

1. はじめに

東北大学会計大学院は 2005 年 4 月に国立大学法人では初めての会計専門職大学院として開設され、今年で 4 年目を迎えた。2008 年 9 月末時点で 77 名の卒業生を社会に送り出すことができた。

本大学院の目的は、グローバルな視野と高度な分析能力を持つ職業会計人を養成し、将来にわたりこのような人材を社会に提供し続けていくことである。この目的を達成していくために第一義的に重要なことは、会計大学院における教育であり、私たちは、社会が職業会計人に求める能力を把握し、これを学生への教育へと反映し、同時に、現在行っている教育が学生の能力やニーズに見合っているかを常に確認しながら、より効果的な教育方法を模索していく必要があると考えている。私たちは、会計大学院における最善の教育方法・システムを求めていくための 1 つの手段として、毎 Semester 終了後にアンケートを実施することとした。本会計大学院は、今年、会計大学院評価機構による認証評価を受け、認証評価のプロセスにおいて本会計大学院が実施しているアンケートは高い評価を得ている。

過去 3 年間のアンケートは、「アンケート実施報告書」として会計大学院のホームページ (<http://www.econ.tohoku.ac.jp/~tuasad/keiji2008a.html>) で公開している。その意図は、東北大学会計大学院への入学希望者や将来私たちが教育した学生を受け入れていただくことになる監査法人・会計事務所・企業・官庁の方々に、本会計大学院でどのような教育が行われているかを理解して頂きたいという点にある。私たち教員は、この調査報告書の公開により、東北大学会計大学院へ関心が高まり、本大学院出身の学生が高度な分析能力を持つ職業会計人として活躍できる機会が増えることを期待している。

私たちは、このアンケート調査報告書を在学生在が教員に対して発信したメッセージと捉えている。今後とも、私たちはアンケートを通じて改善すべき点を見だし、質の高い教育サービスを提供できるよう努力していきたいと考えている。アンケート結果についてご意見等をメール等でいただければ幸いである。

2008 年 11 月 6 日

東北大学会計大学院ワークショップ委員会

2. 実施方法

本報告は、2008年度前期の「会計大学院の授業に関するアンケート」（巻末：付録1参照）に関するものである。アンケートは講義中に配布・回収を行い、延べ人数にして約374名の回答を得た。アンケートは無記名であり、受講生が5人以上であるすべての講義について実施した。

今回の報告の目的は、本会計大学院における教育の現状を学生・教員へタイムリーに報告することであり、アンケート質問項目ごとの分析は行わず、アンケートの集計結果のみを示すこととした。本会計大学院の教育内容・教育方法全般に関する分析については、今年度末（2009年3月）の報告書で行いたいと考えている。ただし、今回のアンケートにおいて学生から寄せられた意見の中で、会計大学院の教育全般に関わると考えられるものについては、若干のコメントを行いたい。なお、科目毎のアンケートの集計結果（アンケート質問項目17の自由質問を含む）と自由記入欄の記載内容は担当教員に直接報告されており、ワークショップ委員会では、これが次年度以降の講義内容の充実に資することを期待している。

3. 「会計大学院の授業に関するアンケート」に関する分析

3.1. アンケートの実施状況

2008 年度前期における開講講義数は 42 科目であり、そのうち履修者が 5 名以上の講義（26 科目）についてアンケートが実施された。開講科目と履修者・アンケート回収数をまとめると次のようになる。

授業科目名	履修者数	回収数
連結財務諸表	33	23
財務会計 1	45	22
財務会計 2	38	25
上級財務会計	35	27
事例研究 (財務諸表分析)	9	7
簿記 1	52	26
簿記 3	11	10
管理会計	18	14
事例研究 (コストマネジメント)	7	4
外書購読 (コストマネジメント)	10	7
原価計算 1	43	29
原価計算 3	29	25
監査	19	3
監査計画の編成法 2	17	14
ファイナンシャルプランニング	15	6
ビジネス・コミュニケーション 1	15	13
経営管理	11	9
統計学	8	4
情報システム管理	16	12
法人税法	22	17
上級法人税法	11	10
証券取引行政	13	7
所得税法	25	17
マーケティング	12	9
監査制度	31	24
企業開示制度のしくみと実際	18	10
合計	563	374

「履修者数」は履修登録を行った学生数であり、「回収数」は履修登録を行わず聴講している学生も含んでいる。

表 1：アンケート実施科目と回収数

今回のアンケートでは、延べ履修者数 563 名に対して 374 名から回答を得た。アンケートの回収率は 66.43% であり、前回（2007 年度後期，71.47%）からやや下がっており、前年度同期（2007 年度前期）の回収率 78.44% と比較してもやや低くなっている。

なお、質問項目 17 は科目担当教員が独自におこなう質問であり、質問項目はすでに取得した資格に関するものなので、アンケートの集計には含めていない。

3.2. アンケートに関する基本統計量

各設問の選択肢に付与された数字は、好ましい回答ほどその値が大きくなるよう設定されているため(設問1を除く)、この数値化によって回答の平均値、中央値、最頻値の算出を行った。その結果は以下の通りである。なお、アンケート内容の詳細については付録2を参照されたい。

項目 \ 設問	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
	属性	出席	予習	復習	宿題	理解	難易度	教員準備	プレゼン	教材	評価方法	シラバス	教員評価	対試験	キャリア	資格
5	334	319	15	16	32	89	212	244	228	204	218	140	242	168	167	5
4	2	31	9	11	21	189	109	76	84	95	98	117	83	103	102	23
3	13	10	25	46	44	67	42	29	34	45	43	90	24	72	79	19
2	23	7	64	68	79	15	6	9	17	21	8	9	16	17	12	177
1	0	5	129	153	123	8	4	14	9	7	4	15	7	9	9	45
0	0	2	128	79	67	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	372	374	370	373	366	368	373	372	372	372	371	371	372	369	369	269
平均値	4.74	4.73	1.20	1.48	1.81	3.91	4.39	4.42	4.36	4.26	4.40	3.96	4.44	4.09	4.10	2.13
中央値	5.00	5.00	1.00	1.00	1.00	4.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	4.00	5.00	4.00	4.00	2.00
最頻値	5	5	1	1	1	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	2

表2：アンケートの基本統計量

質問項目間の相関関係をみるために次のような表を作成した。

設問	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
	属性	出席	予習	復習	宿題	理解	難易度	教員準備	プレゼン	教材	評価方法	シラバス	教員評価	対試験	キャリア	資格
1 属性	1.00															
2 出席	0.095	1.00														
3 予習	0.089	-0.024	1.00													
4 復習	0.126	-0.017	0.673	1.00												
5 宿題	0.113	-0.014	0.410	0.467	1.00											
6 理解	0.036	0.318	0.086	0.051	0.057	1.00										
7 難易度	0.073	0.320	0.062	0.059	-0.073	0.433	1.00									
8 教員準備	0.028	0.257	-0.048	0.006	-0.001	0.428	0.591	1.00								
9 プレゼン	0.022	0.182	0.060	0.062	0.037	0.412	0.579	0.784	1.00							
10 教材	0.004	0.178	0.084	0.012	-0.076	0.391	0.578	0.642	0.715	1.00						
11 評価方法	0.073	0.255	-0.001	-0.062	-0.101	0.405	0.530	0.632	0.592	0.651	1.00					
12 シラバス	0.011	0.163	0.187	0.148	0.040	0.306	0.418	0.430	0.434	0.434	0.465	1.00				
13 教員評価	0.058	0.264	0.038	0.088	0.020	0.492	0.636	0.800	0.801	0.701	0.653	0.461	1.00			
14 対試験	0.056	0.235	0.128	0.236	-0.038	0.341	0.492	0.414	0.419	0.371	0.325	0.343	0.495	1.00		
15 キャリア	0.131	0.329	0.235	0.203	0.081	0.311	0.525	0.464	0.502	0.449	0.393	0.453	0.542	0.609	1.00	
16 資格	0.034	0.056	0.066	0.147	0.073	0.088	0.122	0.027	0.100	0.085	0.033	0.069	0.051	0.156	0.083	1.00

表3：質問項目間の相関係数

上記の表については過去の報告書でも報告されている。過去の報告については、会計大学院のホームページを参照されたい (<http://www.econ.tohoku.ac.jp/~tuasad/keiji2008a.html>)。

4. まとめと自由記入欄に対する回答

今回のアンケートは、前年度同期（2007年度前期）のものと比較すると回収率が減少しているものの、ほぼ3分の2の回収率となっている。その意味で、今回の結果は、これまでのアンケートと同様、学生諸君の意見が大きく反映されているものと考えられる。私たちは、今回の結果を真摯に受け止め、本会計大学院の教育内容が充実していくよう努力していきたい。なお、今回のアンケートの自由記入欄では、講義全般に関わる意見は見られなかったが、個々の講義に関して貴重な意見をいただいている。これらの意見については、会計大学院運営委員会へ報告し、改善を求めたいと考えている。

付録1：会計大学院の授業に関するアンケート（2008年度前期）

このアンケートは会計大学院の授業改善に学生諸君の意見を反映するためのものであり、集計結果等は報告書として公表致します。

授業科目名はマークシート用紙に記入されていますので御確認下さい。

回答者属性

番号	質問	回答	備考
1	あなたの専攻・コースについて、該当するものを選んでください。	(5) 公認会計士コース (4) 高度会計職業人コース (3) 経済経営学専攻 (2) 経済学部	

科目内容について

番号	質問	回答	備考
2	この講義にどのくらい出席しましたか？	(5)90%以上 (4)89-70% (3)69-50% (2)49-20% (1)20%未満	おおよその出席率で回答して下さい。
3	この講義の予習にどのくらいの時間を掛けましたか？	(5)5時間以上 (4)4-5時間 (3)3-4時間 (2)2-3時間 (1)1-2時間 (0)1時間未満	Semesterを通じた平均時間を回答して下さい。
4	この講義の復習にどのくらいの時間を掛けましたか？	(5)5時間以上 (4)4-5時間 (3)3-4時間 (2)2-3時間 (1)1-2時間 (0)1時間未満	宿題に掛けた時間を含めずに回答して下さい。
5	この講義の宿題にどのくらいの時間を掛けましたか？	(5)5時間以上 (4)4-5時間 (3)3-4時間 (2)2-3時間 (1)1-2時間 (0)1時間未満	Semesterを通じた平均時間を回答して下さい。
6	この講義の内容をどの程度理解できたと思いますか？	(5)理解できた (4)ほぼ理解できた (3)どちらともいえない (2)あまり理解できなかった (1)理解できなかった	
7	この講義の難易度は会計大学院の講義として適切だと思いますか？	(5)適切である (4)ほぼ適切である (3)どちらともいえない (2)やや不適切である (1)不適切である	この講義が、基礎、展開、実践・応用科目(注)の何れに属しているか(マークシートに記載)を考慮して回答して下さい。

(注) 実践・応用科目は基礎、展開科目で学んだ内容が、実際にどのように応用されていくかを学習する。

番号	質問	回答	備考
8	教員のこの講義に対する準備は十分でしたか？	(5) 十分だった (4) ほぼ十分だった (3) どちらともいえない (2) やや不十分だった (1) 不十分だった	
9	教員の説明や声量など、授業でのプレゼンテーションは良好でしたか？	(5) 十分だった (4) ほぼ十分だった (3) どちらともいえない (2) やや不十分だった (1) 不十分だった	板書・プロジェクター等の利用も考慮して回答して下さい。
10	テキスト・参考書あるいはプリント等は適切でしたか？	(5) 適切である (4) ほぼ適切である (3) どちらともいえない (2) やや不適切である (1) 不適切である	
11	この講義の成績評価の方法は適切であると思いますか？	(5) 適切である (4) ほぼ適切である (3) どちらともいえない (2) やや不適切である (1) 不適切である	シラバスに記載されている成績評価を考慮して回答して下さい。
12	この講義のシラバスは講義を理解する上で役に立ちましたか？	(5) 役に立った (4) まあまあ役に立った (3) どちらともいえない (2) あまり役に立たなかった (1) 役に立たなかった	講義を選択する際に役立ったかという点も考慮して回答して下さい。
13	総合的に見て、この講義を担当した教員をどう評価しますか？	(5) 評価できる (4) まあまあ評価できる (3) どちらともいえない (2) あまり評価できない (1) 評価できない	
14	この講義は、公認会計士試験を受験する上で役に立つと思いますか？	(5) 役立つ (4) まあまあ役に立つ (3) どちらともいえない (2) あまり役に立たない (1) 役に立たない	
15	この講義は、公認会計士になってからのキャリアにおいて役立つと思いますか？	(5) 役立つ (4) まあまあ役に立つ (3) どちらともいえない (2) あまり役に立たない (1) 役に立たない	
16	あなたが既に合格している資格試験等について、該当するものを選んで下さい。	(5) 税理士会計科目 (4) 公認会計士短答式 (3) 日商簿記1級 (2) 日商簿記2級 (1) その他	複数回答可能です。
17	《講義担当教員による質問》	(5), (4), (3), (2), (1)	担当教員による質問があれば回答して下さい。
18	《自由記入欄》	授業の感想、担当教員への要望、また本アンケートの各質問に関連した更なる意見等を、マークシート添付の用紙に自由に記入して下さい。	

アンケートは以上です。御協力感謝致します。

付録2：アンケート集計結果（2008年度前期）

	選択項目	人数	割合
設問1 回答者属性	公認会計士コース	334	89.78%
	高度会計職業人コース	2	0.54%
	経済経営学専攻	13	3.49%
	経済学部	23	6.18%
	合計	372	100.00%
設問2	90%以上	319	85.29%
この講義にどのくらい 出席しましたか。	89-70%	31	8.29%
	69-50%	10	2.67%
	49-20%	7	1.87%
	20%未満	5	1.34%
	合計	374	100.00%
設問3	5時間以上	15	4.05%
この講義の予習にどの くらいの時間を掛けま したか。	4-5時間	9	2.43%
	3-4時間	25	6.76%
	2-3時間	64	17.30%
	1-2時間	129	34.86%
	1時間未満	128	34.59%
合計	370	100.00%	
設問4	5時間以上	16	4.29%
この講義の復習にどの くらいの時間を掛けま したか。	4-5時間	11	2.95%
	3-4時間	46	12.33%
	2-3時間	68	18.23%
	1-2時間	153	41.02%
	1時間未満	79	21.18%
合計	373	100.00%	
設問5	5時間以上	32	8.74%
この講義の宿題にどの くらいの時間を掛けま したか。	4-5時間	21	5.74%
	3-4時間	44	12.02%
	2-3時間	79	21.58%
	1-2時間	123	33.61%
	1時間未満	67	18.31%
合計	366	100.00%	
設問6 この講義の内容をどの 程度理解できたと思 いますか。	理解できた	89	24.18%
	ほぼ理解できた	189	51.36%
	どちらともいえない	67	18.21%
	あまり理解できなかった	15	4.08%
	理解できなかった	8	2.17%
合計	368	100.00%	
設問7 この講義の難易度は会 計大学院の講義として 適切だと思いますか。	適切	212	56.84%
	ほぼ適切	109	29.22%
	どちらともいえない	42	11.26%
	やや不適切	6	1.61%
	不適切	4	1.07%
合計	373	100.00%	
設問8 教員のこの講義に対す る準備は十分でしたか。	十分	244	65.59%
	ほぼ十分	76	20.43%
	どちらともいえない	29	7.80%
	やや不十分	9	2.42%
	不十分	14	3.76%
合計	372	100.00%	

	選択項目	人数	割合
設問9 教員の説明や声量など、 授業でのプレゼンテー ションは良好でしたか。	十分	228	61.29%
	ほぼ十分	84	22.58%
	どちらともいえない	34	9.14%
	やや不十分	17	4.57%
	不十分	9	2.42%
合計	372	100.00%	
設問10	適切	204	54.84%
テキスト・参考書ある いはプリント等は適切 でしたか。	ほぼ適切	95	25.54%
	どちらともいえない	45	12.10%
	やや不適切	21	5.65%
	不適切	7	1.88%
合計	372	100.00%	
設問11	適切	218	58.76%
この講義の成績評価の 方法は適切であると思 いますか。	ほぼ適切	98	26.42%
	どちらともいえない	43	11.59%
	やや不適切	8	2.16%
	不適切	4	1.08%
合計	371	100.00%	
設問12	役に立った	140	37.74%
この講義のシラバスは 講義を理解する上で役 に立ちましたか。	まあまあ役に立った	117	31.54%
	どちらともいえない	90	24.26%
	あまり役に立たなかった	9	2.43%
	役に立たなかった	15	4.04%
合計	371	100.00%	
設問13	評価できる	242	65.05%
総合的に見て、この講 義を担当した教員をど う評価しますか。	まあまあ評価できる	83	22.31%
	どちらともいえない	24	6.45%
	あまり評価できない	16	4.30%
	評価できない	7	1.88%
合計	372	100.00%	
設問14	役立つ	168	45.53%
この講義は公認会計士 試験を受験する上で役 に立つと思いますか。	まあまあ役に立つ	103	27.91%
	どちらともいえない	72	19.51%
	あまり役に立たない	17	4.61%
	役に立たない	9	2.44%
	合計	369	100.00%
設問15	役立つ	167	45.26%
この講義は、公認会計 士になってからのキャ リアにおいて役立つと 思いますか。	まあまあ役に立つ	102	27.64%
	どちらともいえない	79	21.41%
	あまり役に立たない	12	3.25%
	役に立たない	9	2.44%
	合計	369	100.00%
設問16	税理士会計科目	5	1.86%
あなたが既に合格して いる資格試験等につい て、該当するものを選 んで下さい。	公認会計士短答式	23	8.55%
	日商簿記1級	19	7.06%
	日商簿記2級	177	65.80%
	日商簿記3級	45	16.73%
合計	269	100.00%	

注) 設問の文言は本来のものと若干異なります。

2008 年度 東北大学会計大学院ワークショップ委員会

委員長	伊藤 健
委員	青木 雅明
委員	榎本 正博
委員	松田 康弘
委員	安田 一彦

会計大学院アンケート実施報告書 2008 年度前期

2008 年 11 月 6 日発行

編集・発行： 東北大学会計大学院ワークショップ委員会